

複合的危機における 地理空間情報システム

リアルタイムなクライシスマッピングと長期トレンド分析

本ワークショップは、紛争や自然災害などの脆弱な状況下における地理空間技術の役割について焦点を当てる。リモートセンシング（衛星画像、ドローンなど）やデータのクラウドソーシング（大衆調達）など新たな技術を用いた緊急時のクライシス・マッピングや地政学的分析などに関わる専門家と議論する。午前の部ではこれらの技術とその応用例を紹介し、午後の部では参加者が実際にマッピングや衛星画像解析を体験する。



FURUHASHI Taichi

青山学院大学地球社会共生学部教授、特定非営利活動法人クライシスマッパーズ・ジャパン理事長



Kyoung-Soo EOM

元国連地理空間情報課長。エチオピア・エリトリア国境委員会の事務局、国連現地支援局で戦略支援課を歴任。



FUJIMURA Hidenori

国土地理院地理地殻活動研究センター研究管理課長。国連スマート地図グループでリードを務める。2002年に国土地理院に入省。



TANAKA-SAKABE Yukako

共立女子大学国際学部専任講師、一橋大学グローバル・オンライン教育センター客員研究員



NAKAYA Sumie

一橋大学グローバル・オンライン教育センター講師

PROGRAM

- ・第1部 (10:00-12:00) : プレゼンテーションとディスカッション
- ・昼食休憩 (12:00-13:30)
- ・第2部 (13:30-15:30) : アクティブラーニング (各自 PC をご持参ください。Wi-Fiはこちらをご用意します)

REGISTRATION

<https://forms.gle/xViv4TsuyQFyzzC4A>



*一橋大学GOEセンターのホームページから

2024. Feb.19

10 am - 4 pm



一橋大学千代田キャンパス
学術総合センター内1F大講義室



- ・竹橋駅 (東京メトロ)
- ・神保町駅 (JR)



- ・無料
- ・先着：80名。
- ・言語：英語 (日本語同時通訳あり)